



前期終了

今日で前期が終了しました。この半年間、子どもたちは勉強に、行事に一生懸命取り組み、着実に成長を重ねてきました。もちろん、失敗したり、間違ったりする経験もたくさんしました。その経験を次の成長にどうつなげるか、そこからどれだけ成長できるかが重要だと思います。

私は、「学校は間違ふところ、失敗するところ」であると考えています。勉強を「漢字や計算の力を付けたら、歴史上の人物の名前を覚えたりすること」だとすれば、それは自分一人で家でもできるかもしれませんが、学校でする勉強は、友達と考えを伝え合ったり、難しい問題を教え合ったり、一人ではできないことにみんなで力を合わせて挑戦したりすることだと思います。友達との関わりの中で、思いやりの心や協調性を身に付けることも大事な勉強です。残念ながら、相手の気持ちを考えない軽はずみな言動やけじめをつけずに楽しいことばかり優先してしまう場面もありました。注意や指導をされた時、「ぼく(わたし)だけじゃないし。」「他の人もやってるし。」「ふざけただけです。」「という残念な言葉も聞かれました。人間は誰も完璧ではありません。でも、同じ失敗や間違いを繰り返さないためにどうしたらよいかしっかり考え、つらい思いをする人が一人もいない学校を目指したいと強く思います。終了式で、「前期のたくさんの頑張りを自信にして、後期はゆりっこ一人一人、そして学校全体がさらに成長できるよう、気持ちを引き締め、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。」と子どもたちにお願ひしました。後期もゆりっこの頑張る姿、成長した姿をたくさんお見せできるように頑張っていきたいと思います。

卒業式で発表してくれた2名の作文を紹介します。二人とも堂々と発表してくれました。

「前きががんばったことと、後きががんばりたいこと」 二年まつ組 はたけ山 こはる

わたしが、前きががんばったことは、二つあります。一つ目にはがんばったことは、けんぱんハーモニカです。音楽のじゅぎょうで山のポルカというきよくをべんきょうしました。さいしょは、できなかつたけどいっしょうけんめいれんしゅうをしてうまくできるようになりました。できるようになって、とてもスッキリしました。つぎは、ちがうきよくにもちようせんしたいです。

二つ目にはがんばったことは、とびばこです。さいしょは、またぎのりしかできなかつたけど、れんしゅうしたら、かいきやくとびでとぶことができるようになりました。よこのとびばこでもとぶことができるようになってとてもうれしかったです。後きががんばりたいことは、二つあります。一つ目に頑張りたいことは算数です。今ならっている図形のべんきょうをまずはかんぺきにしたいです。後きからは、かけ算のべんきょうがはじまります。早く九九を覚えて分からない人に教えたいです。二つ目にはがんばりたいことは、たくさんはつぴょうすることです。前きはあまりはつぴょうすることができませんでした。だから、後きは、授業中にしっかり考えて、たくさん手をあげることができるようにがんばりたいです。後きも、いろいろなことにチャレンジしてできることをどんどんふやしていきたいです。



「前期にがんばったことと後期に向けて」 四年松組 佐藤 陽人

ぼくが前期にがんばったことは、算数の学習となべっこ遠足です。算数で、とくにがんばったのは、三けた÷二けたのひっ算です。最初はむずかしかつたけれど、商の立て方を考えて、しっかりと計算ができるようになりました。学級のみんなで意見を出し合つて、はやく正かくに計算するための方法を見つけことができました。これから学習する内容でも、いろいろな方法でチャレンジしていきたいです。なべっこ遠足では、四年生がたてわりゲームのリーダーとして進めました。一年生から四年生まで、じゃんけんピラミッドや新聞リレー、友達集まれゲームをしました。ぼくはじゃんけんピラミッドのし会として、みんなに分かりやすく伝えるために、大きな声ではきはきと言えました。みんなで楽しくなかよく遊ぶことができ、やつてよかつたなあと思いました。そしてたてわり班では、下級生をまとめたり、六年生の手伝いをしたりしました。みんなで協力して、スタンプラリーも高得点を取れました。これからも、班のみんなと協力していきたいです。後期にがんばりたいことは、ゆりっこの学習です。保育園ほう問に向けて、魚つり、お店、クイズ、玉入れなどのゲームをじゅんぴしています。十月二十五日のほう問で、子どもたちに笑顔の輪を広げたいです。そして、秋には、二回目の白百合えんほう問があります。おどりや歌を発表し、六月に行つたときよりも、おじいさんやおばあさんの笑顔をいっぱいになりたいです。そして、来月には二十周年記念の由利小まつりが行われます。ぼくはイラストクラブに入っているの、カラフルな絵をかいててん示し、お世話になっている地いきの人に、元気になってもらいたいと思います。たくさんのお客さんがいらつしゃるので、四年生のみんなと力を合わせて歌やおどりの発表を成功させたいです。



保護者の皆様へ

交通事故や不審者事案等なく前期を終了することができました。これもひとえに保護者や地域の皆様の温かいご支援とご協力によるものと心から感謝申し上げます。後期もどうぞよろしくお願ひいたします。

ゆりっこの頑張り

第19回東由利学童招待野球大会「黄桜杯」
優勝 由利本荘イーグルス
最優秀選手賞 五十嵐 想真（6年）



第80回しょうじゅう！杯 伏龍部門
小学3年生男子の部 優勝 植村陸央

第52回科学作品展

【優秀賞】 木村 幸暖（6年）「おいしいミニトマトをさがせ パート4」
【優良賞】 植村 絢菜（5年）「ゴマダラカミキリのゴマシオちゃん」
熊谷 光（5年）「何が一番からだがか冷えるのか調べよう」

第74回本荘由利児童・生徒理科研究発表会

【優秀賞】 木村 幸暖（6年）「おいしいミニトマトをさがせ パート4」
三浦 樹（3年）「たまごのカラーで朝顔は育つのか？」
【優良賞】 植村 絢菜（5年）「ゴマダラカミキリのゴマシオちゃん」

第70回青少年読書感想文コンクール

【県推薦】	伊藤 奈那佳（1年）	三浦 樹（3年）	加藤 優晴（4年）
【特薦】	猪又 鉄平（1年）	加藤 詩織（6年）	熊谷 光日希（6年）
【入選】	佐々木 煌大（2年）	三浦 寧々（2年）	大山 泰駕（3年）
	菊地 真央（4年）	佐々木 夏帆（5年）	佐藤 芽依（5年）



事故のない秋休みに！

明日11日（金）から14日（月）まで4日間の秋休みとなります。交通事故やケガに気を付けて、元気に過ごしてほしいと願っています。万が一危険な場面に遭遇した時は、次のように対応するよう子どもたちに話していますので、ご家庭でもご確認いただけますと幸いです。

◇自動車、バイク、自転車等と接触し、運転していた人から「大丈夫？」と声をかけられた時

ケガ、出血、痛みなどがなくても、「大丈夫です。」と答えず、「警察を呼んでください。」「お家の人に電話してください。」と言いましょ。運転手が何も言わずに立ち去った場合は、すぐにお家の方にお話して、警察に通報してもらいましょ。

◇不審者に遭遇した時

声をかけられても絶対について行かない、車に乗らないこと。大きな声を出すか、防犯ブザーを鳴らしましょ。お家の方に知らせ、すぐに警察に通報してもらいましょ。

